

平成 24 年度 室内環境学会第 1 回役員会議事要旨

日 時：平成 24 年 3 月 30 日（金）16:30～18:30
場 所：(株) アイデック 7 階会議室
出席者：小野、中井、東、関根、篠原、柳沢（以上実出席）、樺田（委任出席）
監 事：斎藤
事務局：中島、松木、色摩
欠 席：雨谷、柳、野崎
議事次第：

1) 平成 23 年度学術大会報告

平成 23 年度学術大会の収支決算が報告された。
若干の黒字が報告された。

2) 平成 23 年度決算報告

松木会計より最終的な決算が報告された。単年度決算で約 70 万円の赤字となった。後日監事監査を受ける予定である。

3) 平成 24 年度学術大会進捗状況

関根大会長より今年度の総合テーマを「知の会話・境界を越えて Knowledge communication beyond borders」として準備中と報告された。日韓台の第一回合同シンポ、公開講座「室内環境学のすすめ（仮題）」、分科会の報告等の計画が示された。演題申込と要旨提出の時期をずらすことが提案されたが、論の結果、原案通り行うこととした。また演題申込時の発表梗概は不要とされた。

4) 委員会等報告

出版委員会：関根委員長から報告があった。まず新任の出版委員の紹介があり、15 巻 1 号の準備状況が報告された。また吉澤名誉会員の訃報にあたり、追悼記事を予定しているとされた。また J-STAGE での学会誌の公開について進捗状況も報告された。2 月より一部公開が始まっており、順次公開巻号を増し、2012 年 6 月 1 日に全号公開となる予定。それまでは学会 HP と併行公開となる。また J-STAGE での公開に伴い、graphical abstract、電子付録が可能となるため、投稿規定の改定が議論された。

学術委員会：東委員長から報告があった。調査研究助成金の応募状況について報告があり、必要に応じて応募期間延長等もあり得るとされた。また HP での「情報発信」のページにおいて、Indoor Air 誌掲載論文の紹介等を開始していること、今年度も学術大会時に学生懇談会を計画していること等が報告された。

化学物質分科会は今年度 3 回の勉強会を予定していること、これまでの活動をまとめて学会誌に

投稿する等の計画が示された。地域文化財保全分科会についても今年度計画が文書で報告された。

広報委員会：篠原委員長より、HP に国際連携のページを作成していること、バナー広告件数が増えたこと、例年作成しているポスターを今年は早めに作り、学会誌 15 巻 1 号に同封したい等の報告があった。また企業から、当会の HP にリンクしたいとの申し出があったとの報告があり、当会のバナーを作成しておくこととなった。

社会連携委員会：中井委員長より、法人会員に対するアンケート調査について結果を取り纏めている段階であると報告された。結果は学会誌 15 巻 1 号に掲載予定。日韓台の MOU について検討を進めるにあたり、費用負担について始めに整理しておきたいとされた。なお、4 月に台湾から招聘があるが、条件等を確認中と報告された。また、当会の HP に韓・台の HP のリンクを貼るよう広報委員会に依頼があった。

5) 法人化 WG について会長より提案があり、中井事業担当副会長、中島事務局長、山村事業委員を中心に検討を開始するよう指示があった。これに付随して発生する費用について留意すべきとの意見があった。

6) 室内環境学会標準法 20110001 号について
標記標準法原文が役員会に報告された。本法の公開は、HP の会員限定ページで行うこと、非会員からの要請には学会誌の掲載号（15 巻 1 号）を販売して対応することとした。

7) 商標管理委員会規約等について
柳沢委員長より、「室内環境学会商標管理委員会に関する基本規約」「室内環境学会商標管理委員会に関する細則」「商標使用契約に関する細則」及び商標使用契約書の雛形案が提案された。商標会員と法人会員の関係及び会費について議論され、商標会員は法人会員を兼ねる（両会費を納入する）と整理された。若干の修正を経てそれぞれ承認され、2012 年 3 月 30 日付で発効することになった。

8) 会長及び監事選挙における選挙管理委員・委員長の選出について

事務局より、会則第 8 条に基づき会長・監事選挙の実施日程案が提示され、了承された。また選挙管理委員長には松村年郎会員が選出された。

9) 平成 23 年度委員会等活動費清算の件
事務局より、標記活動費の年度決算が提示され、その清算状況について報告された。未処理の委員会については処理の案内があった。

10) その他

- ・事務局より会員動向について、微減と報告があった。
- ・事務局より、名誉会員 吉澤晋先生の訃報につ

いてお知らせがあり、名誉会員のご逝去にあたっては、直近の学会誌で追悼記事を掲載することとした。

・共催、後援、協賛、協力、主催の基準について事務局で整理していたが、現時点での基準について報告があった。

以 上